「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

第5講 学習目標のデザイン

吉村希至 (岐阜女子大学·准教授)

【目的】

学習目標の分類体系に関する考え方をもとに、 明確な学習目標を設定できる。

【学習到達目標】

- a. ブルームの教育目標分類について、行動目標による例を 取り上げて説明できる。
- b. ガニェの学習成果の5分類について、具体例を挙げて説明できる。
- c. 明確な学習目標について、具体的な単元において説明できる。

授業づくりのスタート



学習目標を 適切かつ明確にすること

学習目標を明確にする



- ・目標自体が適切かわかる
- ・学習者に実現可能かわかる
- ・授業の進め方がはつきりする
- ・適切な教材かはっきりする
- ・どの教師も共有できる
- ・教師チームの授業設計・改善が可能になる

学習目標の分類

学習目標を、学習内容と能力の観点から分析し、学習目標を吟味・ 検討し明確にする



- ・ブルームの教育目標の分類体系
- ・ガニエの学習成果の5分類

ブルームの教育目標の分類体系

評 価 Evaluation		
統 合	個性化	自然化
Synthesis	Characterization	Naturalization
分 析	組織化	分節化
Analysis	Organization	Articulation
応 用	価値づけ	精密化
Application	Valuing	Precision
理解	反 応	巧妙化
Comprehension	Responding	Manipulation
知 iii Knowledge	受け入れ Receiving	模 倣 Imitation
認知的領域	情意的領域	心的運動的領域

引用:授業設計マニュアル(稲垣・鈴木 2015)

認知的領域における階層的な分類



- ⑥評価・・考え、意見などを自分なりに評価
- ⑤統合・・要素を統合し、考えを創り出す
- 4分析・・要素を分解し、要素間の関係を知る
- ③応用・・知識を他に適用する
- ②理解・・知識や情報の意味を理解する
- ①知識・・記憶などを呼び起こす

ガニェの学習成果の5分類

言語情報	物事・名称を覚える
運動技能	体を動かして身に付ける
知的技能	ルールを理解し活用する
認知的方略	学び方を工夫する
態度	気持ちを方向付ける

ガニェの5分類と学力の3要素と評価の観点の関係

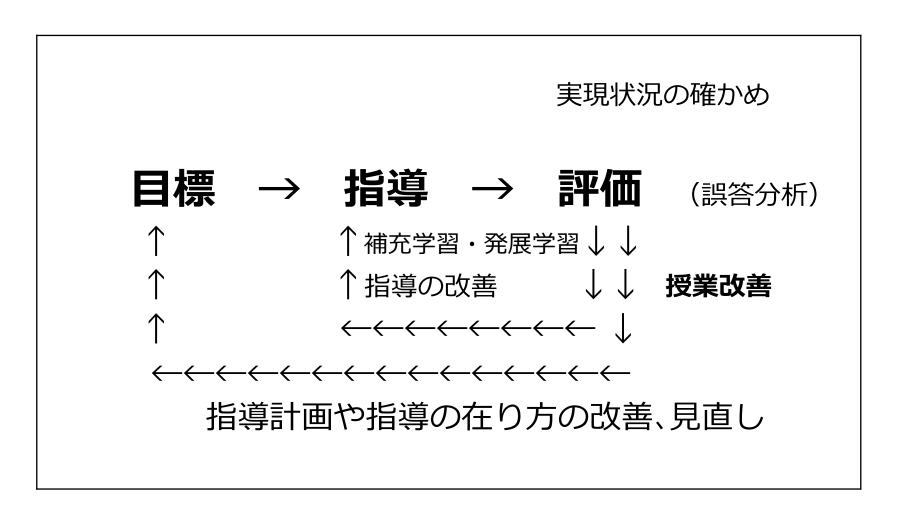
ガニェの	学習指導要領で示された	観点別学習状況 •
学習成果の5分類	学力の3要素	評価の観点
言語情報	基礎的・基本的な	知識・理解
運動技能	知識・技能	技能
知的技能	思考力・判断力・	思考・判断・
	表現力等	表現
認知的方略		
態度	主体的に取り組む	関心・意欲・
	態度	態度

学習成果と目標行動の関係

	学習成果	具体例	目標行動
言語情報	名称や単語などの指定 されたものを覚える	人の体に関する英単語を 書きだすことができる	言う、書く
運動 技能	体の一部や全体を使う 動作や行動	なわとびで2重跳びを5 回以上連続でできる	行う,実演する
知的技能	ルールや原理,概念を 理解して新しい問題に 適用する	前置詞の後に置く代名詞 の例を複数挙げることが できる	区別する,選ぶ, 分類する,例を挙 げる,つくりだす
認知的方略	学び方や考え方を意識 して工夫・改善する	教科書を自分なりに工夫 してノートにまとめるこ とができる	採用する
態度	個人の選択や行動を方 向づける気持ち	地球に優しい生活を心が けようとする	選ぶ, ~しようと する, ~しないよ うにする

引用:授業設計マニュアル(稲垣・鈴木 2015)

目標と指導と評価の一体化



<学習目標設定の流れ>

- ①学習指導要領に定められた目標を分析
 - \downarrow
- ②学年の目標、内容を吟味、単元の学習目標設定
- ③目標分析表を基に、行動目標として記述

 ↓
- ④本時の重点を定め、本時の学習目標を設定

学習目標の設定の例

- ・~の活動を通して
- ・~に気付き ~を考え ~を理解し
- ~ができる。

「1,5+1,3の計算は、数直線上に表したり、1,5を0,1の15個分とみたりすることを通して、少数の仕組みや数の相対的な大きさの見方を用いて解決できることが説明でき、少数の加法の計算を整数の加法と同じように考え、位をそろえて位ごとにたして計算することができる。」

目標分析表による学習目標の分析

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解	技能
求積公式の習得		・平行四辺形や長方形 の面積の求め方を活用 して、三角形の面積の 求め方を考える。 ・三角形の面積の求め 方を図示し、説明し合 う。 ・三角形の面積の求め 方を公式化する。	・三角形の面積の公式が言える。	・公式を使って三角 形の面積を求めるこ とができる。
公式の	・高さが底辺の 延長線上にくる 三角形の面積を 習得した知識を、 活用して求めよ うとする。	・面積と底辺から高さ を求め、高さが底辺の 延長線上にくる場合で も高さを判断し、面積 の公式が使える。	・面積と底辺 から高さの求 め方が言える。・どこを底辺、 高さにしても 面積が等しい ことが言える。	も高さを判断し、面 積を求めることがで

引用:実践教育評価事典 (加藤 2010)

ワークショップ

ガニエの学習成果の5分類をもとに、ある教科・ 領域の単元等を例にとって、グループで明確な学 習目標を設定し発表しなさい。

【ポイント】

- (1) 学習目標の明確化の意味
- (2) ガニェの学習成果の5分類
- (3)明確な学習目標の設定

「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

第5講 学習目標のデザイン

吉村希至 (岐阜女子大学·准教授)